

YOICHI
MORITA

もりた洋一の選挙公約(マニフェスト)の 現状報告

YOICHI
MORITA

昨年4月の市議会議員選挙で新人議員として当選、議会に入ってからから1年半が経ちました。選挙の時にお約束した私の公約(マニフェスト)について、現状を下記にご報告いたします。(前号でご報告したのも、併せてご報告いたします)

私の選挙公約

●わたしは貰いません

議員の立場を利用した情報料や口きき料などは一切貰わないことのほか、公約した次の3項目の現状は次のとおりです。

◆市議報酬の20%を返上。全額は貰いません。

・議員報酬は条例の定めにより、一方的にカットできません。そこで私は、20%の額を法務局へ供託することを考えました。しかし、市職員が毎月供託手続をとる手間がかかるため、別口座による第三者管理の方法をとっています。このお金は寄付をするつもりでしたが、公選法で選挙区内への寄付が禁止されているため、現在対応を協議検討中です。

◆市議の政務調査費は一切貰いません。

・議員活動の費用として支給される政務調査費。流山市では、議員個人ではなく所属する会派に支給されています。私は、会派内議員の了承のもと、自分の議員活動で使用する費用はすべて自己負担で行っています。

◆選挙の公費(ポスター・選挙カー費用など)は、一切貰いません。

・私の選挙は、自転車による選挙活動でしたので、選挙カーや話題のガソリン代の請求はありません。また、公選ハガキ、ポスターなど、すべて自費で行い、公的選挙費用の請求はありませんでした。

●もっともっと改革、クリーンで元気な流山を創ります

◆議会の機能をもっと発揮させるため、一般質問を一問一答方式にする。

・議会での質問の一問一答方式は、6月議会から採用されることになり、従来の一括方式と一問一答方式の選択制になりました。質問の内容によって使い分けをしたいと考えています。

◆議員定数の削減(目標20人)を目指す。

・議会内に反対派がいるものの、引き続き、賛同する議員と協力して取り組んでいます。

◆地域の課題に取り組めます。

・商店街活性化と観光資源開発のため、市民活動団体「グローバルながれやま」と一緒に、旧市街の外国人用観光イラストマップ作りの活動をしています。(柏のボランティアガイド協会とも連携して集客を図っています)
・ドッグラン(犬の散歩道)設置について、市当局への一般質問の実施、アダプトプログラムなどの先進事例の研究など、実現への努力を続けています。民間活力や市民の協力が必要なため、この面での働きかけも進めています。

◆メダカ・ホタルと共に生きる環境を守ります。

・みどりの基金の拡充を要求、今回の補正予算で1.5億円の増額が予定されています。
・環境保護活動として、今年3月に日本熊森協会と「鳥獣被害防止特措法関連予算を、鳥獣捕獲ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書」を国に提出しました。

◆マンションに発生する諸問題の解決に取り組めます。

・千葉県マンション管理士会協力のもと、今年4月に「マンション相談窓口」設置が実現しました。
・昭和56年以前建設の旧建築基準のマンションに対する「マンション耐震助成」を今年4月から実施。

■選挙公約以外に現在着手していること

・学校教育での危機感理マニュアルの充実を新年度にむけて取り組んでいます。(3月・6月議会で一般質問をしました)
・市役所内のX非効率(組織内に認識されていない非効率)の回避を市に提言。昨年12月議会で一般質問を行い、今年度から各部局長の仕事と目標に、課長の仕事を加えて、問題解決の明確化が進められています。今後見守っていきます。